

## 熊本地震ボランティアを兼ねた視察。

2016年4月14日21時26分に熊本県と大分県で相次いで発生した地震のニュースが流れる中、例会後の懇親会で実際はどうか視察しようという事になり、5月22日～24日の日程で熊本の益城町に行く事になりました。メンバーは茅ヶ崎中央RC本間会員、中川会員、嵯峨野会員の3名です。

視察場所は、堀川会員、小川会員のお口添えも有りAMDAの詰めている益城町立広安小学校に決まりました。宿泊場所は少し離れた福岡市内でしたので、レンタカーを借りて1時間位掛けて広安小学校まで向かいました。



まずは、AMDAのプロジェクト研究員の大政朋子様を訪ね打ち合わせ等を行い、午前中は体育館内の清掃、午後から地元のRCクラブとの面談、午後から資材の移動等をする事になりました。



体育館内はクーラーが効いておりましたが、かなり高温の状態でした。震災当初、暗幕があったのですが寒さを凌ぐ為に切り分けて毛布代わりに使ったそうです(現在発注済みとの事でした)。益城町の建物には、赤紙、黄紙、緑紙が貼られた建物が有ります、意味は信号機みたいな感じです。体育館自体も黄色(注意)の紙が貼られた建物でした。体育館内は大分気温も上がり不衛生になってきたので害虫駆除に伴い清掃作業を行いました。ダンボールの簡易テントはAMDAが設置したそうです。清掃が終わり昼食は持参したのですが、炊き出しのとんこつラーメンを頂きました。



午後からは、国際ロータリー第2720地区 熊本りんどうロータリークラブの岡田会員の車で、益城町の現状を視察いたしました。液状化した地域や倒壊や地盤沈下と復興にはまだ時間が掛かりそうでした。



そして、熊本りんどうロータリークラブ 真嶋会長と桂会員のましきクリニックで面談を行いました。クリニック自体も被害を受けており建物は大丈夫なのですが周りの外構やアスファルトが駄目になっておりました。

熊本りんどうロータリークラブは設立9年で、会員数18名で全体的に若い人が多いクラブです。飲食や医師が多く建設業がない為、現状はどこから何をして良いかわからない状態だそうです。物資も人もいるのですが住む所だけない、先ずは解体作業をしなければならないが重機やトラックも少なく中々難しいとの事でした。



面談が終わり、広安小学校に戻り今度は荷物の仕分けと、害虫駆除の薫蒸作業をするので口の開いた段ボールの密封作業を行いました。



密封作業が終わり、今度は通常の授業が再開した小学校の廊下や教室に置いて有る、簡易ベットや畳等を体育館に移動をしました。



今回は AMDA の大政様、熊本りんどうロータリークラブ真嶋会長等、多くの方とお会いして感じたのですが、まさか自分が災害に巻き込まれるとは考えていないので、普段から自身も備えて、他地域に災害が起きた場合も何が出来るかを準備しておく必要が有ると思います。熊本は遠く中々行ける場所ではないので、支援も人的な物は難しいですが、これからも何か出来る事はないかと考え無くてはいけないと思いました。震災地域の1日でも早い復興をお祈り申し上げます。